

お知らせ

立命館アジア太平洋大学
2019年2月6日 配信 APUリリース 2018-64

Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

APUクラウドファンディング、2つのプロジェクトでそれぞれ目標金額達成！

終了まで残り8日！2月14日（木）11:00まで。

昨年12月15日よりクラウドファンディングを開始した、出口学長の直轄プロジェクト「APU起業部」と、APUの日本語教員らが実施する『『共生』できるまちづくり！国際学生と地域の交流プログラム』。APUで初の試みとして実施し、多くの方よりご支援いただいております。クラウドファンディング終了まで残り8日となりました。引き続き、皆さまからのご支援をお待ちしております。

★「APU起業部」第二目標金額350万円も達成！

皆さまからのご支援のおかげで「APU起業部」は、第一目標金額の200万円を昨年末に達成。そして、第二目標金額の350万円にも2月4日に達成することが出来ました。クラウドファンディング終了までの残り8日も、引き続きご支援いただけますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ご支援ページ：<https://readyfor.jp/projects/APUdeguchijuku>

★『『共生』できるまちづくり！国際学生と地域の交流プログラム』

おかげさまで第一目標金額達成！第二目標金額170万円達成に向け挑戦中。

「地域との交流」「地域とのつながり」「社会につながる日本語教育」をテーマに行われてきたAPUの日本語教育。2016年に起こった熊本地震後に学生や地域の方々1000名に行ったインタビュー・アンケートの結果、大分・別府の地元地域とのつながりの大切さを改めて実感したAPUの日本語教員らは、国際学生が地域の方と協力し関わっていきけるような新たなつながり方を模索し、外国人にも解り易い簡単な日本語を用いる「やさしい日本語」で外国人と語り合う「ひるまち にほんご」や、地域の人と国際学生や外国人住民がいっしょに防災について考える「防災まちあるき」など様々な活動を始めました。

今回のクラウドファンディングで頂いたご支援は、この様な活動を継続・発展させると共に、この地域で古くから暮らす住民も、新しい住民も、ことばや文化の違い年齢差があっても、みんなが混ざって一緒に住む「まち」をつくるための基盤作りに充てられる予定です。残り8日間、皆さまからの引き続きのご支援をお待ちしております。

概要：APUの国際学生の日本語教育を地域の人々と共に進めることで、高齢化するコミュニティ全体の防災力UPに、外国人対応力UPにもつなげる。別府を日本一の多文化共生の町へ、そして世界の未来のモデル地域となることを目指しています。

目標額：100万円（1月31日達成！）、第二目標額**170万円**に向け挑戦中。

最低寄附額：3,000円から

代表者：本田明子教授（APU 言語教育センター長）

返礼品：国際学生からのお礼のお手紙、報告書、キャンパスのご案内、日本語授業見学等

事務局：APU リサーチ・オフィス

ご支援ページ：<https://readyfor.jp/projects/apucle>